

入選

巡る水

福島県立会津学鳳中学校 二年 楠くすのき 凌我りょうが

私が去年まで通っていた、翁島小学校は、北には宝の山磐梯山がそびえ、南に数キロのところには日本で四番目に大きな猪苗代湖が水を湛えるとても自然が豊かなところにあります。猪苗代湖は面積一〇

ちが行ってきたのです。この十何年も継続して行った取り組みのかがあり、ついに令和元年には、全国水質ランキングで全国第十四位に再びランクインすることができたのです。

三・三km²、容積三八五九〇〇m³の湖で、平成十四年から十七年にかけて、環境省から水質日本一と評価されてきました。しかし、平成十八年からは一ランクから外され、きれいな湖とは言われなくなってきました。そこで翁島小学校では、猪苗代湖を水質日本一に戻すために、総合的な学習の時間で水環境学習に取り組むことになりました。学習するなかで、水質悪化の原因は大腸菌群数の数値が高いからだと分かり、私たちにできることとして、水質を悪化させる植物の除去や、ゴミ拾い、水を浄化させる作用のあるアサザという植物の移植などを代々の先輩た

とところで猪苗代湖の水は水道水にも使われていません。日本は地球上の様々な国の中でも珍しいことに、日本中のどこに行っても、水道から水を飲むことができ、水不足とは無縁の生活を送っています。このような国は世界中を探しても、そうそうありません。しかし、この恵まれた環境だからこそ日本人は水に対する意識が低いのではないかと思います。人間も含め、ほとんどの生き物は水がなくては生きてゆくことができないことは皆が知っています。しかし飲み水が確保できればいいという話ではありません。例えば、日本は食料自給率がとても低く、様

々な食料や飼料を外国に頼っていますが、輸出される小麦は、栽培される国の水を大量に使われ生産されていることを想像できるでしょうか。牛肉も輸入に頼っていますが、それだって、なかなかの水をくうのです。牛肉を1kg分作るには、餌などに使われるものも合わせて二〇六〇ℓの水が必要になります。日本人の一日の水の使用量は平均で約三〇〇ℓなので、牛肉1kgに実に六十七日分の水が使われているのです。衣類もまた然りです。一枚のTシャツを製造するために二九〇〇ℓ：このように想像を働かせていくと、飲み水以外に大量の水の恩恵を受けて私たちの生活が成り立っていることが分かってきます。

さてこの大切な水はどこから来ているのでしょうか。今、外には雪が降っています。この雪は溶けて川となり、やがて海に流れます。いつしか蒸発して雲となり、豊かな森に降る雨となる。そう、水は世界中を巡り巡っているのです。つまり、私たちが水を汚せば汚れは世界中に広がっていくということがいえるのです。小泉八雲（ラフガディオ・ハー

ン）は来日した際に思いやり豊かでとても素晴らしい民族と評していましたが、今もその思いやりはあるのででしょうか。自らの行いは、その行いが良いことだろうが悪いことだろうが、絶対に帰ってくるものだと思います。情けは人のためならずというように、（自分が良ければそれでいい）ではなく（誰かのためは自分のため）というような、思いやりが大切だと思います。なぜなら、猪苗代湖が汚れた原因である大腸菌群は、主に家庭からの生活排水のせいであったからなのです。私は、一滴の水を大切にします。私はできるだけ水を汚さないように心がけて生活します。私は、食べ物でも衣類でも、今自分にとって必要な分だけを買ってもらい、大事に使います。まずは自分でできることを積み重ねていくこと。そうすれば、猪苗代湖がきれいになったように、巡る水もきれいなまま世界中に行きその恩恵をみんなが享受できるのではないのでしょうか。